



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 極東貿易株式会社
 コード番号 8093 URL <https://www.kbk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 義也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 川島 朝彦 (TEL) 03-3244-3558
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	47,611	35.7	1,818	26.8	2,106	24.6	1,466	△54.2
2025年3月期第3四半期	35,097	13.5	1,433	145.8	1,690	81.1	3,201	365.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,190百万円(△41.5%) 2025年3月期第3四半期 3,745百万円(87.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	121.47	—
2025年3月期第3四半期	259.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	59,394	30,412	51.2	2,527.03
2025年3月期	58,010	29,356	50.6	2,401.99

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 30,412百万円 2025年3月期 29,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—	35.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	39.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	20.8	2,400	17.7	2,600	3.0	1,800	△51.6	149.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) 2025年3月期に計上した負ののれん発生益の影響を除いた親会社株主に帰属する当期純利益に対する、2026年3月期連結業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益の増減率は13.9%であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 一社(社名) 一 、除外 1社(社名) ファーレ株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	12,152,736株	2025年3月期	12,471,836株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	117,789株	2025年3月期	250,074株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	12,069,616株	2025年3月期3Q	12,333,604株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、サステナブルな社会の実現と企業価値の向上を目指した中期経営計画「KBKプラスワン2025」の最終年度を迎える中で、計画で掲げた戦略に沿って事業ポートフォリオの最適化を図ると共に、新規事業分野ヘリソースを配置するなど事業基盤の強化を着実に進めてまいりました。その結果、連結業績は順調に改善しており、また、計画していた総額50億円のM&A投資についても、昨年度に汎用プラスチック・エンジニアリングプラスチック事業を担っている株式会社三幸商会及び船舶補修部品事業を担っている株式会社ウエルストンの買収を実行し、それぞれ当社グループの連結業績に寄与しております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間（2025年4月～12月）の業績は、昨年度に連結子会社化した株式会社三幸商会が通期で業績に寄与したことに加え、海外向けプラント機器事業や資源・計測機関連事業などが好調に推移した結果、売上高、営業利益共に前年同期比で大幅な増収増益となりました。また、営業外損益においては、持分法投資利益が増加したことなども寄与し、経常利益も前年同期を大幅に上回りました。一方で、前年同期に特別利益として計上した負ののれん発生益がなくなった影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は減少しました。なお、負ののれん発生益の影響を除いた親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となっております。

当第3四半期連結累計期間の業績結果は以下の通りです。

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減額
売上高	350億97百万円	476億11百万円	+125億13百万円
売上総利益	78億80百万円	86億88百万円	+8億7百万円
営業利益	14億33百万円	18億18百万円	+3億84百万円
経常利益	16億90百万円	21億6百万円	+4億16百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	32億1百万円	14億66百万円	△17億35百万円

セグメント業績につきましては次のとおりであります。

産業設備関連部門

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減額
売上高	94億62百万円	119億49百万円	+24億86百万円
営業利益	6億99百万円	6億95百万円	△4百万円

産業インフラ関連事業は、海外プラント向け重電機器が好調を維持しました。また、地震振動機器においては、前年度に大型案件の納入があったため、前期の水準を下回りました。

資源・計測機関連事業は、航空宇宙・防衛機器が底堅い需要を背景に伸長したほか、洋上風力発電に関する風況・海象調査機器も業績を牽引しました。加えて、欧州地域におけるリチウムイオン電池事業も、主要顧客向けの販売が堅調であったことに加え、大口案件が収益に貢献しました。

これらの結果、営業利益は前年同期比でほぼ同水準を確保しました。

産業素材関連部門

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減額
売上高	117億47百万円	208億3百万円	+90億55百万円
営業利益	64百万円	4億71百万円	+4億6百万円

機能素材関連事業は、前期に連結子会社化した汎用プラスチック・エンジニアリングプラスチック事業が通期で寄与したことに加え、自動車向け部品・材料も北米向けを中心に好調を維持しました。

生活・環境関連事業は、旺盛な航空機需要を背景に機内設備向け接着剤が伸長しました。

加えて、費用面において前期に計上したM&A関連の一時費用がなくなったことなどもあり、部門全体として大幅な増益を達成いたしました。

機械部品関連部門

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減額
売上高	138億87百万円	148億58百万円	+9億70百万円
営業利益	6億75百万円	6億59百万円	△15百万円

精密ファスナー（ねじ類）関連事業は、中国・アセアン地域における自動車メーカーの生産調整や、北米地域におけるインフレ・高金利化を背景とした住宅設備需要の減退が影響し、また、船舶補修部品事業も、需要が低調に推移したことから、それぞれ減速しました。その一方で、特殊スプリング関連事業は、構造改革の効果により、収益性が改善しました。

これらの結果、部門全体では若干の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当グループの当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億84百万円増加し、593億94百万円となりました。その主な要因は、電子記録債権が8億87百万円増加、投資有価証券が16億17百万円増加したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億28百万円増加し、289億81百万円となりました。その主な要因は、契約負債が8億58百万円増加したことなどによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億56百万円増加し、304億12百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が2億5百万円増加、その他有価証券評価差額金が10億円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(業績予想の修正について)

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 62,000	百万円 2,200	百万円 2,350	百万円 1,700	円 銭 140.68
今回修正予想(B)	64,000	2,400	2,600	1,800	149.13
増減額(B-A)	2,000	200	250	100	-
増減率(%)	3.2	9.1	10.6	5.9	-
(参考)前期連結実績 (2025年3月期)	52,982	2,038	2,525	3,717 (1,580)	301.69

カッコ内は、負ののれん発生益2,137百万円を除いた当期純利益

修正の理由

産業設備関連部門では、国内基幹産業向け機器・設備、地震振動機器、資源・計測器関連事業などが好調に推移しており、産業素材関連部門では、前期に連結子会社化した汎用プラスチック・エンジニアリングプラスチック事業が通期で寄与することに加え、北米向け自動車部品材料が順調に推移しております。

この結果、通期の売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

以上を踏まえ、通期連結業績予想を上方修正いたします。

(配当予想の修正について)

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年11月12日発表)		円 銭 37.00	円 銭 72.00
今回修正予想		39.00	74.00
当期実績	35.00		
(ご参考) 前期実績(2025年3月期)	35.00	35.00	70.00

修正の理由

当社は、株主の皆様への継続的な成果の還元と、企業価値の持続的向上を実現するため、適正な資本政策の下、将来の事業展開と財務状況、収益動向などを総合的に勘案した配当を実施することを利益配分の基本方針としております。この方針に基づき、2026年3月期からの配当につきましては、原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う累進配当を採用し、その配当性向は50%を目安としております。

上記基本方針および業績予想の修正を考慮した結果、期末配当予想については37円から39円に修正いたします。これにより年間の配当は1株当たり74円となる予定です。

上記の業績予想および配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実績の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,834	8,914
受取手形、売掛金及び契約資産	20,891	19,030
電子記録債権	3,574	4,461
商品及び製品	6,749	7,150
仕掛品	81	147
原材料及び貯蔵品	645	547
前渡金	1,513	1,965
その他	1,535	1,638
貸倒引当金	△137	△169
流動資産合計	43,688	43,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,954	1,985
減価償却累計額	△1,349	△1,381
建物及び構築物(純額)	604	604
機械装置及び運搬具	856	862
減価償却累計額	△688	△727
機械装置及び運搬具(純額)	168	134
工具、器具及び備品	1,264	1,249
減価償却累計額	△1,073	△1,062
工具、器具及び備品(純額)	190	187
リース資産	74	74
減価償却累計額	△52	△57
リース資産(純額)	21	16
使用権資産	351	354
減価償却累計額	△140	△171
使用権資産(純額)	211	182
土地	1,301	1,301
建設仮勘定	3	31
有形固定資産合計	2,501	2,456
無形固定資産		
のれん	240	201
その他	201	191
無形固定資産合計	442	392
投資その他の資産		
投資有価証券	9,405	11,022
その他	1,988	1,851
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	11,377	12,858
固定資産合計	14,321	15,707
資産合計	58,010	59,394

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,641	12,790
電子記録債務	2,050	2,622
短期借入金	6,577	2,648
リース債務	117	119
未払法人税等	543	503
契約負債	1,553	2,412
賞与引当金	380	202
その他	937	1,005
流動負債合計	24,801	22,304
固定負債		
社債	100	1,700
長期借入金	731	1,410
リース債務	120	83
長期未払金	65	62
退職給付に係る負債	1,265	1,234
繰延税金負債	1,562	2,179
資産除去債務	6	6
固定負債合計	3,852	6,677
負債合計	28,653	28,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,496	5,496
資本剰余金	7,935	7,935
利益剰余金	10,760	10,966
自己株式	△277	△151
株主資本合計	23,914	24,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,709	3,710
繰延ヘッジ損益	8	85
為替換算調整勘定	2,707	2,350
退職給付に係る調整累計額	16	20
その他の包括利益累計額合計	5,441	6,166
純資産合計	29,356	30,412
負債純資産合計	58,010	59,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	35,097	47,611
売上原価	27,217	38,923
売上総利益	7,880	8,688
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	2,589	2,853
従業員賞与	256	295
賞与引当金繰入額	150	179
退職給付費用	133	127
減価償却費	185	193
貸倒引当金繰入額	28	31
その他	3,103	3,189
販売費及び一般管理費合計	6,446	6,869
営業利益	1,433	1,818
営業外収益		
受取利息	60	41
受取配当金	224	212
持分法による投資利益	67	187
貸倒引当金戻入額	26	-
その他	72	72
営業外収益合計	451	514
営業外費用		
支払利息	44	77
社債発行費	-	40
為替差損	83	53
支払手数料	17	-
その他	49	55
営業外費用合計	195	226
経常利益	1,690	2,106
特別利益		
投資有価証券売却益	244	210
負ののれん発生益	2,132	-
特別利益合計	2,377	210
特別損失		
減損損失	248	-
投資有価証券売却損	68	-
特別損失合計	316	-
税金等調整前四半期純利益	3,751	2,317
法人税、住民税及び事業税	548	740
法人税等調整額	△0	110
法人税等合計	547	851
四半期純利益	3,203	1,466
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,201	1,466

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,203	1,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148	1,000
繰延ヘッジ損益	1	77
為替換算調整勘定	341	△330
退職給付に係る調整額	23	4
持分法適用会社に対する持分相当額	26	△26
その他の包括利益合計	541	724
四半期包括利益	3,745	2,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,743	2,190
非支配株主に係る四半期包括利益	2	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年2月13日付の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間にて自己株式201,300株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が302百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が151百万円となっております。

(自己株式の消却)

当社は、2025年2月13日及び2025年9月22日付開催の取締役会決議に基づき、2025年9月30日付で自己株式319,100株を消却いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ409百万円減少しております。なお、自己株式の消却により、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

上記を含む取得及び消却等の結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金の残高は7,935百万円、利益剰余金の残高は10,966百万円、自己株式の残高は151百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業設備 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,462	11,747	13,887	35,097	—	35,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	110	225	530	866	△866	—
計	9,573	11,972	14,418	35,964	△866	35,097
セグメント利益	699	64	675	1,439	△5	1,433

(注) 1 セグメント利益の調整額△5百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに分配していない全社資産に含まれる保養所と自動運転開発投資については、当第3四半期連結累計期間において、減損損失として特別損失に計上しております。

保養所については、売却の意思決定を行ったこと及び市場価額が著しく下落していたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し79百万円を、自動運転開発投資については、回収に想定以上の時間がかかる見込みとなったことから168百万円を、減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

機械部品関連部門において、265百万円のものれんが発生しております。これは、連結子会社である株式会社ウエルストンを取得したことによるものです。

(重要な負のものれん発生益)

産業素材関連部門において、2,132百万円のものれん発生益を計上しております。これは、連結子会社である株式会社三幸商会を取得したことによるものです。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業設備 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,949	20,803	14,858	47,611	—	47,611
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	413	505	950	△950	—
計	11,980	21,216	15,363	48,561	△950	47,611
セグメント利益	695	471	659	1,826	△7	1,818

(注) 1 セグメント利益の調整額△7百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

各報告セグメントに属する主な取扱商品・サービスは以下のとおりです。

セグメントの名称	主な取扱商品またはサービスの内容
産業設備関連部門	鉄鋼、非鉄、自動車、化学、造船、プラントエンジニアリングなどの関連機械装置、電気機械設備、検査装置、石油掘削関連機器、石油・天然ガス探鉱技術サービスなどの資源開発機器、電子機器、電子部品及びソフトウェア、計装制御システム、地震・振動計、画像処理装置、航空機搭載電子機器、地上支援電子機器、航空機用機材、航法装置などを販売
産業素材関連部門	複合材料製造設備、繊維加工機械、食品加工機、樹脂加工機械、塗装設備、測定・分析装置、食品用副資材、エンジニアリングプラスチック、樹脂、塗料、溶射材、建設用資材、合成複合材料、鋳鍛造品などを販売
機械部品関連部門	精密ファスナー（ねじ類）および関連機械器具工具、船舶補修部品、定荷重ばね、ぜんまい、ステンレス製各種ばね類などを販売

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	269百万円	283百万円
のれんの償却額	8	39

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な処理の確定)

2024年10月1日に行われた株式会社三幸商会との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当中間連結会計期間に確定しております。なお、前連結会計年度において暫定的に算定された負ののれんの金額に変動はありません。

2024年11月1日に行われた株式会社ウエルストンとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当中間連結会計期間に確定しております。なお、前連結会計年度において暫定的に算定されたのれんの金額に変動はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。